

# 2015年度中間期 決算説明会

**DOWA**ホールディングス株式会社

2015年11月11日

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2015年度上期決算の概要

## ■ 連結損益計算書

単位：億円

	2014年度 上期実績①	2015年度上期				前年同期比増減 (③ - ①)	
		当初予想②	実績③	増減 (③ - ②)			
売上高	2,236	2,140	2,082	△ 57	△ 3%	※△ 153	△ 7%
営業利益	168	185	202	17	10%	34	20%
経常利益	184	185	206	21	11%	21	11%
当期純利益	121	115	120	5	5%	△ 1	△ 1%

※売上高の減少は、銀粉の一部取引を原料代を含まない受託加工へ変更した影響などによる

## ■ 決算のポイント

**損益状況：** 上期は営業利益で前年同期比 + 20%の増益の決算。

部 門	営業利益 前年同期比増減		増減内容
環境・リサイクル	+1億円	+4%	低濃度PCB処理の増加、廃家電処理量の減少
製錬	+39億円	+85%	製錬所の稼動は順調、円安による増益効果あり
電子材料	+2億円	+5%	LEDや銀粉の販売が堅調
金属加工	△3億円	△10%	国内やアジアでの自動車生産調整の影響などにより減販
熱処理	△5億円	△48%	海外を中心に工業炉販売が減少

**金属価格・為替：** 金属価格は総じて下落、為替は概ね1ドル120円台で推移。

**探鉱投資：** ロス・ガトスPJ関連費用15億円を特別損失に計上。

# (補足) 探鉱プロジェクトの状況について

単位：億円

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度見込			2016年度 想定	2017年度	2018年度	2019年度～
			上期実績	下期見込	合計				
<b>アラスカ (Palmer)</b>	探鉱 (総額22M\$を負担)						(FS) → (開発・許認可) → (生産開始)		
営業費用 (探鉱費) ※1	3	8	2	4	6	7	数億円/年		
※1 出資比率50%超のため全部連結扱い									
<b>メキシコ (Los Gatos)</b>	FS (総額50M\$負担)						(開発・許認可) → (生産開始)		
営業外費用 ※2 (持分法投資損失)	-	-	3	15	18	9	<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;">                     ・探鉱プロジェクトの進捗は順調                      ・費用については、期初計画通り支出                 </div>		
特別損失 ※3 (投資有価証券評価損)	-	12	15	0	15	-			
※2 出資比率15%以上 (2015.2Q～) : 持分法適用扱い ※3 出資比率15%未満 (～2015.1Q) : 一般会社株式扱い									
■ 各段階利益における影響 (符号が△は損失)									
営業利益	△ 3	△ 8	△ 2	△ 4	△ 6	△ 7			
経常利益	△ 3	△ 8	△ 5	△ 19	△ 24	△ 16			
当期純利益	△ 3	△ 20	△ 20	△ 19	△ 39	△ 16			

# 2015年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2014年度 実績 ①	2015年度業績予想			年度増減 (③－①)
		当初予想 ②	今回修正 ③	増減 (③－②)	
売上高	4,642	4,450	4,180	△ 270	△ 462
営業利益	390	425	385	△ 40	△ 5
経常利益	420	425	385	△ 40	△ 35
当期純利益	265	270	225	△ 45	△ 40

- ・金属価格全般の下落や、中国・東南アジアなどの成長鈍化を背景とした先行き需要の不透明さなどを勘案した結果、当初予想を下方修正し、通期の営業利益は385億円を見込む。

# 2015年度 前提条件と感応度（下期）

感応度（営業利益／下期）

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	120.0 円/\$	±1 円/\$	<b>150</b>
銅	5,000 \$/t	±100 \$/t	<b>15</b>
亜鉛	1,800 \$/t	±100 \$/t	<b>200</b>
インジウム	300 \$/kg	±100 \$/kg	<b>300</b>

※感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 為替、金属価格

	2014年度		2015年度			(参考) 直近
	上期	通期	上期前提	上期	下期前提	10月平均
為替：(¥/\$)	103.0	109.9	115.0	121.8	120.0	120.1
銅：(\$/t)	6,890	6,554	6,000	5,653	5,000	5,223
亜鉛：(\$/t)	2,192	2,175	2,200	2,019	1,800	1,728
インジウム：(\$/kg)	692	650	500	369	300	240

# セグメント別の状況 当初予想比

単位：億円

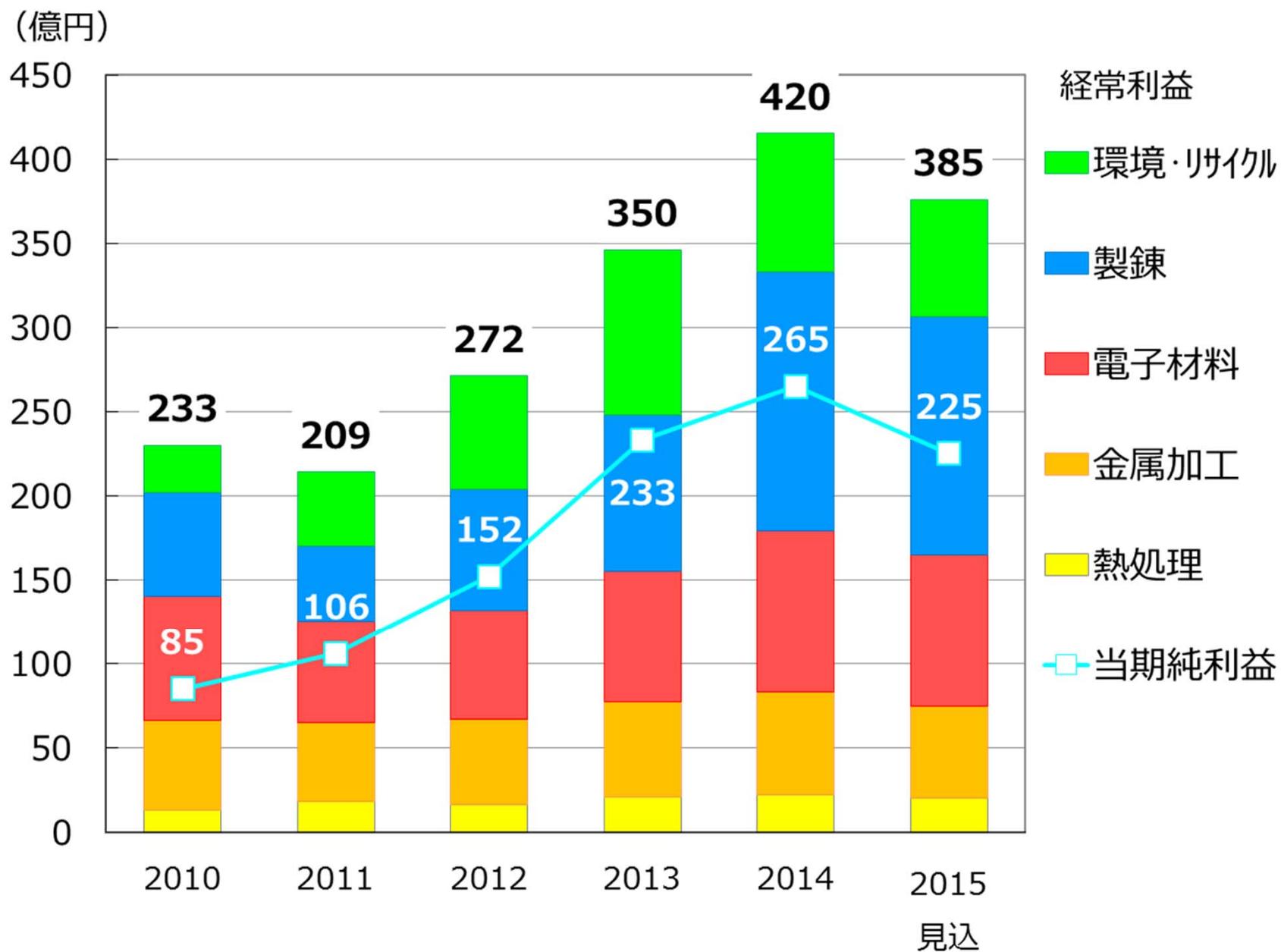
	2015年度 当初予想			2015年度 業績予想			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	1,060	82	85	<b>1,000</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	△ 60	△ 12	△ 15
製錬	2,400	136	135	<b>2,200</b>	<b>143</b>	<b>141</b>	△ 200	7	6
電子材料	490	89	96	<b>480</b>	<b>85</b>	<b>90</b>	△ 10	△ 4	△ 6
金属加工	910	71	72	<b>810</b>	<b>51</b>	<b>55</b>	△ 100	△ 20	△ 17
熱処理	285	31	30	<b>260</b>	<b>21</b>	<b>20</b>	△ 25	△ 10	△ 10
その他、 全社・消去	△ 695	16	7	△ <b>570</b>	<b>15</b>	<b>9</b>	125	△ 1	2
計	4,450	425	425	<b>4,180</b>	<b>385</b>	<b>385</b>	△ 270	△ 40	△ 40

# セグメント別の状況 前年比

単位：億円

	2014年度 実績			2015年度 業績予想			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	1,038	73	82	<b>1,000</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	△ 38	△ 3	△ 12
製錬	2,385	135	154	<b>2,200</b>	<b>143</b>	<b>141</b>	△ 185	7	△ 13
電子材料	736	88	96	<b>480</b>	<b>85</b>	<b>90</b>	△ 256	△ 3	△ 6
金属加工	876	58	61	<b>810</b>	<b>51</b>	<b>55</b>	△ 66	△ 7	△ 6
熱処理	273	23	22	<b>260</b>	<b>21</b>	<b>20</b>	△ 13	△ 2	△ 2
その他、 全社・消去	△ 668	12	3	△ <b>570</b>	<b>15</b>	<b>9</b>	98	2	5
計	4,642	390	420	<b>4,180</b>	<b>385</b>	<b>385</b>	△ 462	△ 5	△ 35

# 経常利益・当期純利益の推移





---

# 各事業の状況と今後の取り組み

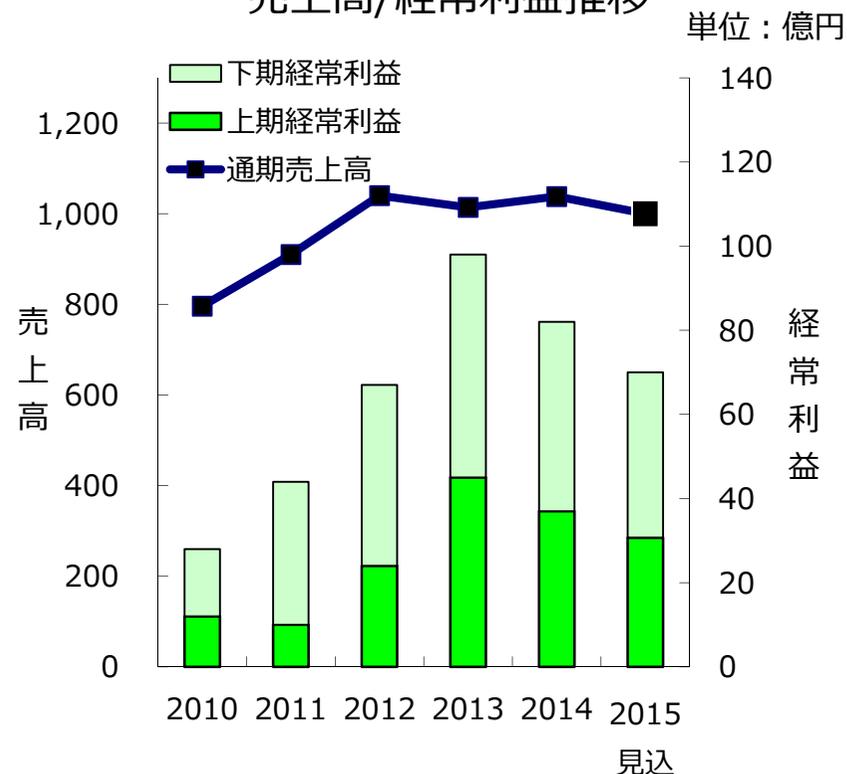
## 2015年度の状況

- ・国内製造業からの廃棄物発生量は横ばい
- ・貴金属相場の軟調などにより、リサイクル原料の発生量は国内や米国などで弱含み
- ・原油価格下落の影響もあり、インドネシアやタイでの石油掘削汚泥の発生量は減少

## 今後の取り組み

- **廃棄物処理**
  - ・ダイオキシン類などを含む難処理廃棄物の増処理
  - ・低濃度PCB廃棄物の増処理、秋田の処理施設立ち上げ
- **土壌浄化**
  - ・自然由来汚染土壌浄化の増処理、現地浄化の営業推進
- **リサイクル**
  - ・アジアを中心としたリサイクル原料の増集荷
- **東南アジア**
  - ・ミャンマーの最終処理施設立ち上げ、既存拠点の拡充に向けた取り組み推進

売上高/経常利益推移



# 低濃度PCB廃棄物処理事業の拡大

## ■エコシステム山陽

- ・事前解体強化による投入量増加・効率向上を進め、2015年度は前年比40%増処理見込み
- ・2016年度上期 電気機器の許認可量の拡大と新たに絶縁油の処理開始を予定

## ■エコシステム秋田

- ・2015年8月 新炉竣工、許認可手続きに着手
- ・2016年度上期 新炉の操業開始予定、電気機器の処理が可能に

## ■エコシステム小坂

- ・2015年度 低濃度PCB含有廃塗料の処理を開始

低濃度PCB廃棄物の処理量推移  
(エコシステム山陽)



低濃度PCB処理施設  
(エコシステム秋田)



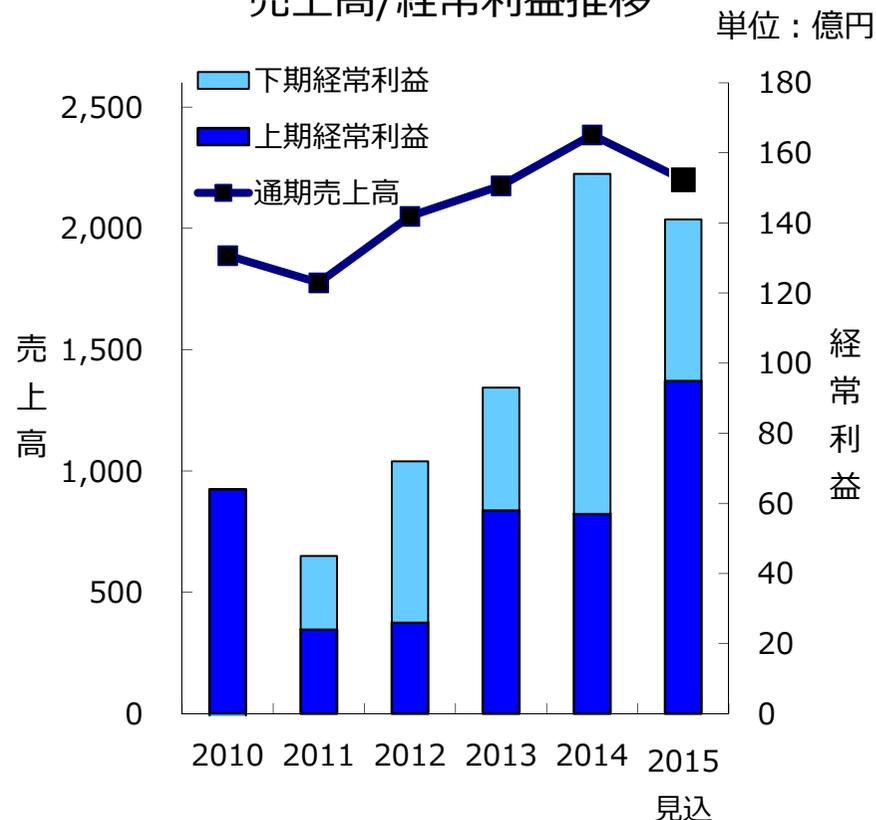
## 2015年度の状況

- 金属価格は調整局面、為替は円安基調での推移継続
- 銅、亜鉛の国内需要は、建設や自動車向け横ばい
- 白金族原料の集荷は、貴金属価格低迷の影響もあり横ばい

## 今後の取り組み

- 貴金属銅
  - 小坂製錬の不純物対応力強化と副産金属回収能力の向上
- PGM
  - 欧州拠点での営業人員増など海外からの集荷強化
- 亜鉛
  - 電力原単位削減や生産性向上による秋田製錬の競争力強化
- 資源
  - 米国、メキシコにおける鉱山プロジェクトの推進

売上高/経常利益推移



# 亜鉛事業の拡充

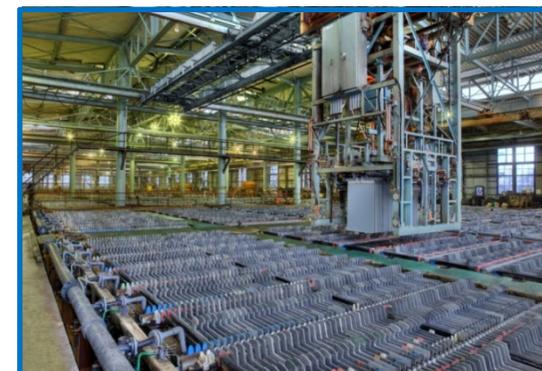
## ■ 秋田製錬の競争力強化

- ・焙焼炉など重要設備の新設や更新
- ・電解能力の段階的増強  
(2017年度 22万トン/年体制へ)
- ・亜鉛やインジウムの実収率向上
- ・電力原単位の低減

安定操業継続

生産性向上

コスト競争力強化



秋田製錬の電解工場

## ■ 亜鉛リサイクル事業の強化

- ・2011年に営業運転を開始し、鉄鋼ダストなどから亜鉛をリサイクル（亜鉛量2万トン/年）  
⇒原料集荷環境が改善するなか、好条件原料の積極集荷やコスト削減により収益力を強化

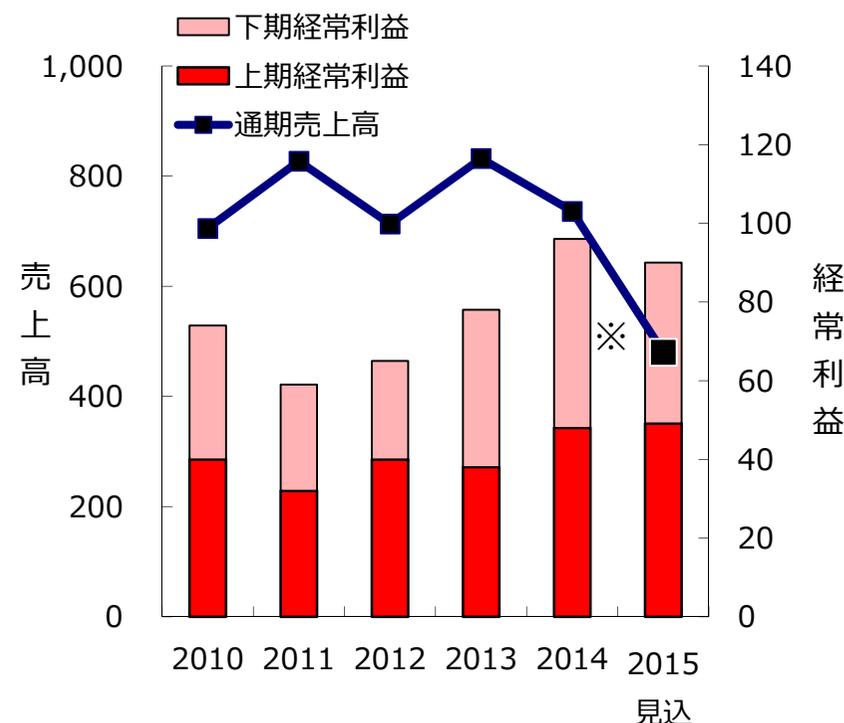
## ■ 東南アジアへの展開

- ・2013年にタイ亜鉛加工工場の稼働開始、めっき鋼板や車載用ダイカスト向けに販路拡大  
⇒需要動向を見極めつつ、東南アジアでの拡販と能力増強に取り組む

## 2015年度の状況

- 電子部品・半導体関連は、PC向け低調、スマートフォン向けは上期堅調・下期は調整局面
- 新エネルギー向けは、拡大する北米・アジア市場を中心に堅調
- データテープ向けは、データ量の増加を背景にアーカイブ用途の需要堅調

売上高/経常利益推移 単位：億円



※2015年度の売上高減少は、銀粉において銀地金代を含まない受託加工での取引へ一部変更されたことによる

## 今後の取り組み

- **半導体** ・近接センサー、医療センサー向けへの拡販と新規用途の開拓
- **電子材料** ・タッチパネル向けなど新たな電極材料用途への拡販
- **機能材料** ・データテープ向け次世代記録材料の開発
- **新規開発** ・ナノ銀ペーストの用途開拓や燃料電池向け電極材料の生産対応

# 成長市場への取り組み

## ■ センサー向けLED

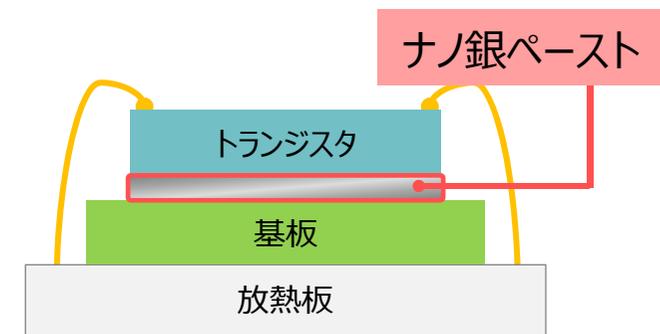
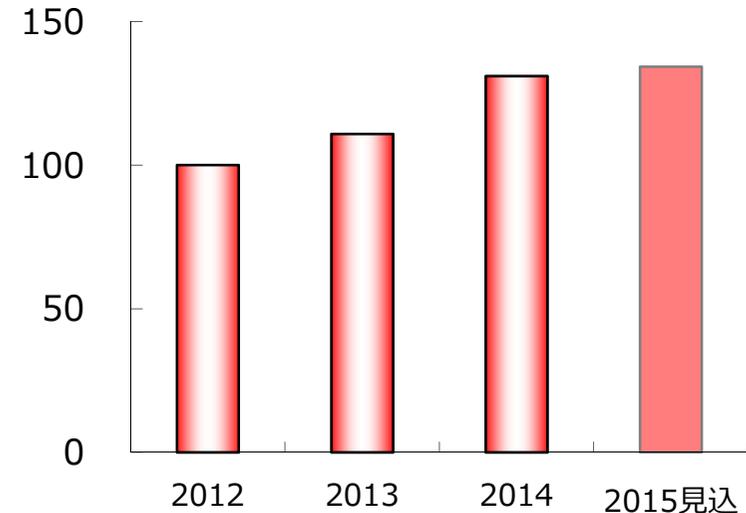
- ・スマートフォン向けは、ハイエンド機向けを中心として、堅調な販売を継続
- ・通信端末への搭載が進む心拍センサーなどヘルスケア用途への開発・拡販を図る

## ■ 開発品の状況

- ・**ナノ銀ペースト（半導体接合材料）**  
ハイブリッドカーなどの電力制御機器向けへ拡販  
照明・高周波デバイス向けなど用途拡大に注力
- ・**燃料電池向け電極材料**  
新たに認定を取得、普及期に向け拡販を継続

LED 販売量の推移

※2012年度を100として指数化



【パワー半導体の模式図】

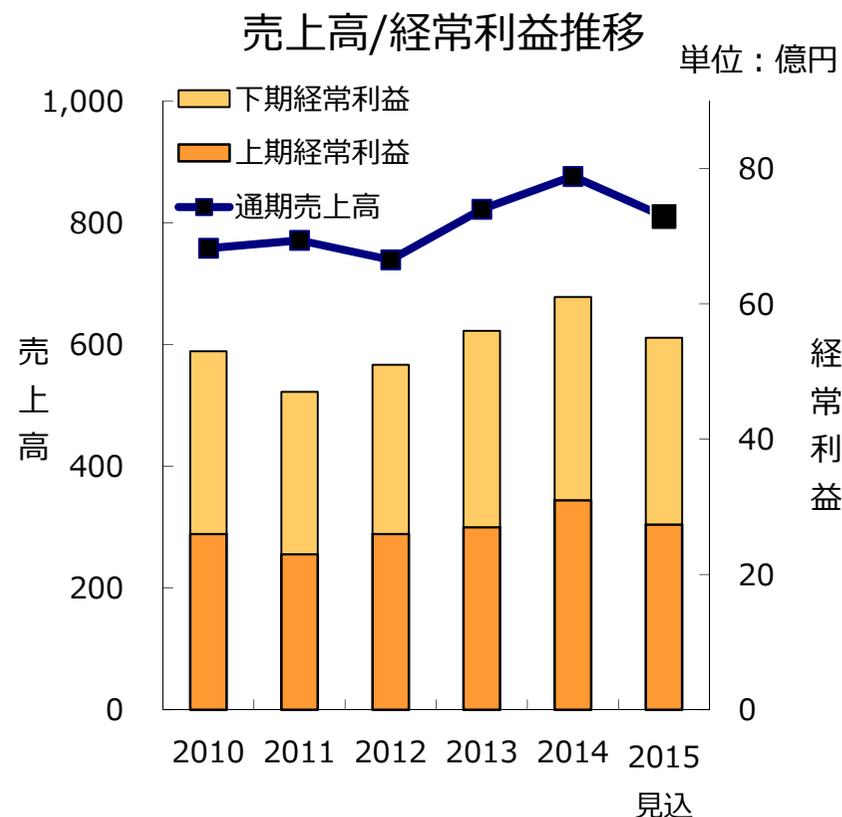
- ・放熱性能や高温耐久性能に優れる
- ・従来の接合用はんだの代替材

## 2015年度の状況

- ・伸銅品：自動車向けは上期は生産調整により減少、下期は緩やかに回復、半導体・電子部品向けは横ばい
- ・めっき：自動車向け堅調
- ・回路基板：中国向けを中心に産業機械・鉄道向け需要減

## 今後の取り組み

- **伸銅品**
  - ・ハイブリッドカーやスマートフォン向け高特性銅合金の開発・拡販
  - ・台湾のプレス加工工場の立ち上げ、中国でのスリッター設備増強
- **貴金属めっき**
  - ・タイでの増産とさらなるめっきラインの増設
  - ・ハイブリッドカーなどの高圧端子向け高硬度めっきの増産
- **回路基板**
  - ・放熱性や信頼性を高めた新規製品の拡販



# 自動車向けの取り組み

- ・ハイブリッドカーなどの生産拡大
- ・自動車の電装化が加速



- ・高温、高耐圧品の需要増加
- ・コネクタやスイッチの増加

## ■ 伸銅品

- ・高い導電性と耐熱性・強度をもつ新銅合金の開発
- ・車載カメラなど情報通信向けコネクタ材の拡販
- ・中国や台湾、タイでの加工強化、現調化取込み

## ■ 貴金属めっき

- ・部分めっきの生産性向上、タイの生産能力増強
- ・高圧端子向け高硬度めっきなど新製品の開発・量産
- ・燃料電池自動車など新規用途の開拓

タイの加工工場

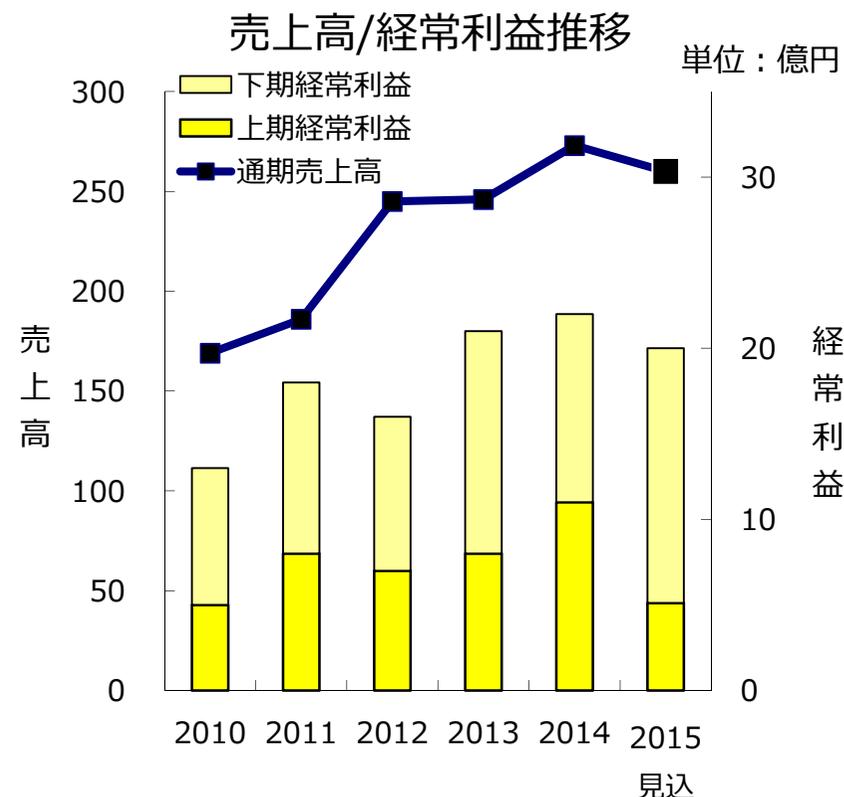


貴金属めっき製品



## 2015年度の状況

- ・自動車向け：国内および東南アジアは、熱処理加工・工業炉ともに需要低調、北米およびインドでは総じて堅調
- ・建機向け：国内外ともに熱処理加工の需要は横ばい



## 今後の取り組み

- **海外事業**
  - ・インドやメキシコなど海外成長地域での熱処理事業の拡大
  - ・メキシコ拠点を活用した中南米向けメンテナンス事業の拡大
- **国内事業**
  - ・拠点統合による工業炉製造の生産性向上、メンテナンス事業の強化
  - ・市場動向に対応した熱処理加工ラインの統合
- **研究開発**
  - ・コスト競争力のある小型熱処理設備の導入、新規表面処理の導入

# 海外成長地域での熱処理事業強化

## インド

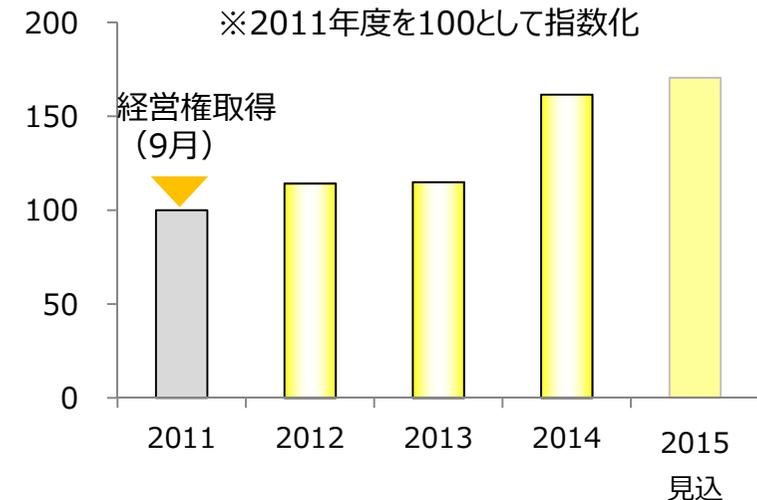
自動車生産は、輸出に加え内需拡大の余地も大きく、今後も拡大する見込み

- ・バンガロール：熱処理設備の増設完了  
新規熱処理加工工場を建設予定
- ・アーメダバード：熱処理加工工場の建設着手  
2017年度の操業開始予定



インド拠点の売上高推移

※2011年度を100として指数化



## メキシコ

完成車・部品メーカーの進出が加速しており、自動車生産は今後も堅調に拡大する見込み

- ・2015年度：メンテナンス事業開始
- ・2017年度：熱処理加工工場立ち上げ予定